



Science & Global vol.25

2学期が間もなく終わろうとしています。2学期は、1年生の関西研修、2年生の課題研究など、出雲高校SSH・SGHにとって大きな行事が数多くありました。また、SGパワーアップセミナーやSGベーシックセミナー等の講演会で、世界で活躍される方々の講演をお聞きする機会も多くありました。各行事において積極的に挙手をして質問をしたり、講演後に直接質問に行ったりするなど、生徒たちが主体的に自己の知見を広げようとする姿勢が見られました。

★SGパワーアップセミナー講演会★

11月1日(木)午後、出雲市民会館大ホールにてSGパワーアップセミナー講演会を開催しました。対象は1・2年生で、その他にも保護者・県内の教育関係者・一般の方も含め、約700名が参加しました。このたびは「グローバル社会へ羽ばたく高校生へ」と題して、株式会社モンスター・ラボ代表取締役社長で、本校44期卒業生の鮎川宏樹さんを講師にお迎えしました。

鮎川さんは、現在13カ国23都市でWeb・モバイルアプリなどのプロダクト開発、ゲーム開発、音楽配信サービス、RPA等の事業を手がける一方、中東の難民雇用やバングラデシュにおける孤児対策など社会貢献にも取り組んでいらっしゃいます。

講演は、鮎川さんの自己紹介から始まり、会社の事業紹介や起業した理由、グローバル展開をする必要性、世界で活躍するには何が大切かということなど多岐に及び、最後の後輩へのメッセージまで、熱く語っていただきました。

講演後の質疑応答では、当初の予定時間をオーバーするほどたくさんの生徒からさまざまな質問が投げかけられました。鮎川さんには、それらの質問の一つひとつ丁寧に答えていただきました。今回の講演で、時代の先端を走るIT分野のことだけでなく、国際貢献の大切さにも気づかされました。生徒たちの今後の進路にとって大変参考になる有意義な講演会となりました。



★1年生普通科「SGベーシックセミナー」★

10月15日(月)、11月12日(月)、12月10日(月)に普通科1年生を対象に「SGベーシックセミナー」を行いました。

このセミナーは、国際的な社会課題をテーマに、島根大学をはじめその他外部機関から多数の専門家を招き、実社会や実生活の課題をタイムリーに取り上げる3回連続の教養講座です。

今年度は下記9講座を開講し、生徒それぞれが自らの興味・関心に応じて講座を選択し、受講しました。

第1回目は、それぞれの講師陣が現在課題となっているテーマについて、専門性を生かした内容の講義等を行ったほか、実験を行った講座もありました。



第1回の様子

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. 福祉経済論 | 島根大学法文学部教授 宮本恭子先生 |
| 2. 地方財政論 | 島根大学法文学部准教授 関耕平先生 |
| 3. 食品機能学 | 島根大学生物資源科学部教授 室田佳恵子先生 |
| 4. 昆虫生態学 | 島根大学生物資源科学部准教授 泉洋平先生 |
| 5. 考古学 | 島根大学法文学部准教授 岩本崇先生 |
| 6. 日本語学 | 島根大学法文学部講師 野間純平先生 |
| 7. 日本近世史 | 島根県立古代出雲歴史博物館専門学芸員 矢野健太郎先生 |
| 8. 国際協力の現状 | 独立行政法人国際協力機構国際協力推進員 岩田和美先生 |
| 9. 地域活性化(街づくり) | 神門通り甦りの会代表 田邊達也先生 |

第2回目以降は、フィールドワークやグループディスカッションを通じて、生徒自らがそれぞれのテーマを自身の問題として捉えるよい機会となりました。この講座で得た知識を生かしながら、次年度以降、自らテーマを設定し、グループで課題研究を行います。

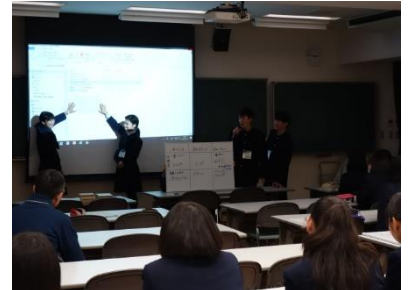
(フィールドワークや実験を行った講座と場所・内容)

- ①地方財政論：吉田ふるさと村（地方創生に寄与する地元企業を訪問しての現地調査、ヒアリング調査の実施）
- ②食品機能学：本校実験室（様々な飲料の抗酸化力測定）
- ③昆虫生態学：本校敷地内の山林（昆虫採集）、本校実験室（過冷却点の測定、低温耐性実験）
- ④考古学：横穴式石室墳（出雲平野の横穴式石室墳をめぐる）
- ⑤日本近世史：古代出雲歴史博物館（展示・史料見学）
- ⑥地域活性化（街づくり）：出雲大社門前町（街づくりを通じた地域活性化）

最終回では、これまで2回の学習で学んだり、考えたりした内容を、それぞれの講座でグループごとにまとめたり、パワーポイントやポスターを用いて発表したりしました。



第2回の様子



第3回の様子

★2年生理数科「SS探究B課題研究」中間発表会★

10月22日(月)5・6限に、2年生 理数科の「SS探究B課題研究」の中間発表会を行い、8つの研究班が研究活動の進行状況を発表しました。

課題研究は、生徒たち自身が考えを寄せ合い相談・協議してテーマを決め、主体的に実験の段取りなどを検討し、研究活動を展開しています。

そのため、まだ細かい部分までは十分に検討できていない内容の発表となりましたが、生徒たちがお互いの活動を報告し合うことで刺激になる部分や参考となる内容も多く得られました。

助言に来ていただいた島根大学の2名の先生方からも、すべての班に対し丁寧に助言をしていただきました。

「コントロールの無い実験はやっても無駄」、「どこまでが先行研究によるもので、どこからが自分たちの研究内容か。参考文献の明示をもっと細かく丁寧に」など、研究を進めるうえで基盤となる重要な視点を注入していただきました。

この中間発表会でいただいた意見や、改めて研究を見つめなおして見えてきた点などを整理し今後の研究に役立ててくれるものと期待します。



以下は各班の研究テーマです。

物理①	線香花火に色を付けよう	物理②	蜃気楼を用いて地球の裏側を見ることはできるか
数学	コラッツ予想について	化学①	環境にやさしい洗濯用洗剤の洗浄効果
化学②	線香花火の発色	生物①	ミミズによる土壌性質の変化の研究
生物②	スズメバチの繭の 髪への効果	地学	地質・地形から予想する災害規模

今後の予定

- 1月15日(火) 【2年生理数科】理数科研究成果発表会
・校内で、すべて英語による口頭発表、質疑応答を行う。
- 1月下旬 【2年普通科】課題研究校内成果発表会
- 1月19日(土) 【2年生普通科16名】サンタクララ海外研修
～26日(土)
- 1月22日(火) 【2年生理数科】H30 SSHシンガポール共和国海外研修
～26日(土)
・本校の理数科2年生が課題研究の時間に取り組んできた成果をシンガポールで発表
- 2月6日(水) 【1・2年生】SS・SG研究成果発表会
・2年理数科は1/15の発表で代表に選出された3班がステージ発表をする(英語)。
・すべての班がポスター発表をする。